記者発表資料

令 和 6 年 6 月 6 日

令和５年７月の記録的な大雨による被害からまもなく１年「水災害対策プロジェクト　パネル展」を開催します

～関係機関における治水対策の取り組みを紹介します～

〇令和５年７月１５日からの記録的な大雨により秋田市街地をはじめ各地において大規模な浸水被害が発生し、まもなく１年を経過しようとしてます。

〇雄物川圏域ではあらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる“流域治水”に取り組んでおり、今次出水被害を踏まえ、既存の「雄物川圏域流域治水協議会」の分科会として「下流圏域分科会」を設立し、“雄物川下流圏域水災害対策プロジェクト”を策定して治水対策を推進しているところです。

〇近年は気候変動の影響により災害の激甚化、頻発化に対して、防災意識の向上が求められており、改めて洪水に対する備えを啓発するとともに、関係機関で進めている治水対策の取り組みを紹介した『水災害対策プロジェクト パネル展』を開催します。

■開催場所：秋田駅東西連絡自由通路　内　（ぽぽろーど）

■開催期間：令和６年６月１０日（月）PM～６月１４日（金）AM

※6月10日（月）13:00～14:00に現地にて取材対応いたします。

■展示内容：①令和５年７月洪水の概要

②雄物川下流圏域　水災害対策プロジェクトの紹介

■主　　催：雄物川圏域流域治水協議会　下流圏域分科会

＜発表記者会＞　　秋田県政記者会

問い合わせ先

雄物川圏域流域治水協議会　下流圏域分科会

（事務局）国土交通省　東北地方整備局　秋田河川国道事務所

住所　秋田市山王一丁目１０－２９

電話　０１８－８２３－４１６７（代表）

副所長（河川）　成田（なりた）　正喜（まさき）　（内線２０４）

流域治水課長　田中（たなか）　益栄（やすよし）　（内線３５１）

別添

展示パネルの一例

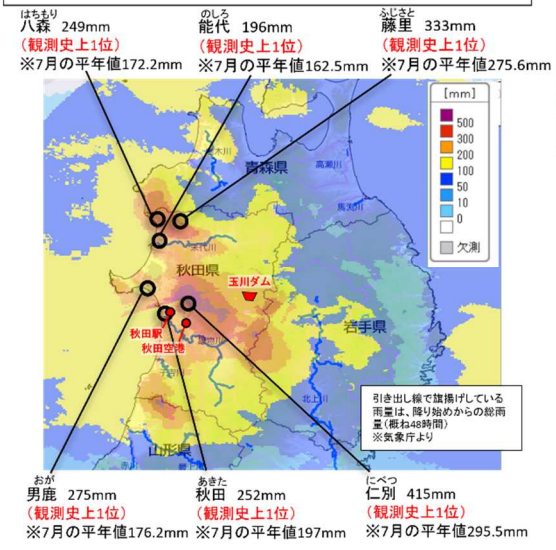
令和5年7月14日からの梅雨前線による大雨に係る出水の概要

○ 前線の影響により、秋田県を中心に記録的な大雨となり、24時間雨量は多いところで300mmを超過し、多くの雨量観測所で観測史上1位を記録したほか、7月の平年値も上回る降水量を記録。

○ 管内の国管理河川においては、氾濫危険水位超過が2水系3河川（雄物川水系雄物川・玉川、子吉川水系石沢川）、避難判断水位超過が2水系2河川（子吉川水系子吉川、米代川水系米代川）、氾濫注意水位超過が2水系2河川（北上川水系北上川、最上川水系鮭川）を記録。

○ また、県管理河川においては、堤防決壊や橋梁の崩壊（損傷）、堤防越水、溢水等による浸水被害が発生。

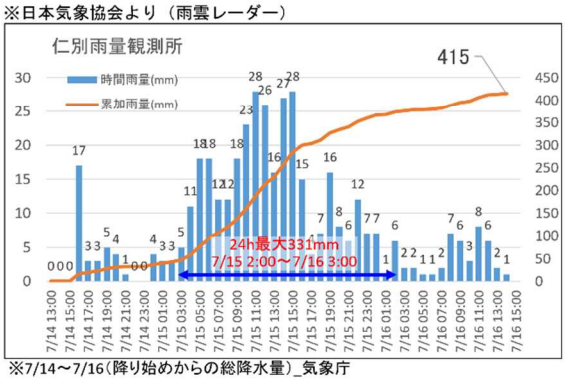
令和5年7月14日13時～7月16日13時までの
48時間レーダー雨量（累積） ※統一河川情報システムより



7/14～7/16にかけて継続して強い雨が降り続き、仁別雨量観測所では、24時間で331mmを記録。



※日本気象協会より（雨雲レーダー）



※7/14～7/16（降り始めからの総降水量）_気象庁

雄物川下流圏域　水災害対策プロジェクト

～流域のあらゆる関係者が一体となった、安全で安心が確保できる治水対策の推進～

○ 令和5年7月15日からの大雨により、太平川の越水をはじめ秋田市街地の大規模浸水被害が発生したことから、雄物川下流圏域では、国土交通省、秋田県、秋田市等が連携し、「水災害対策プロジェクト」を実施している

令和5年7月大雨による浸水被害状況



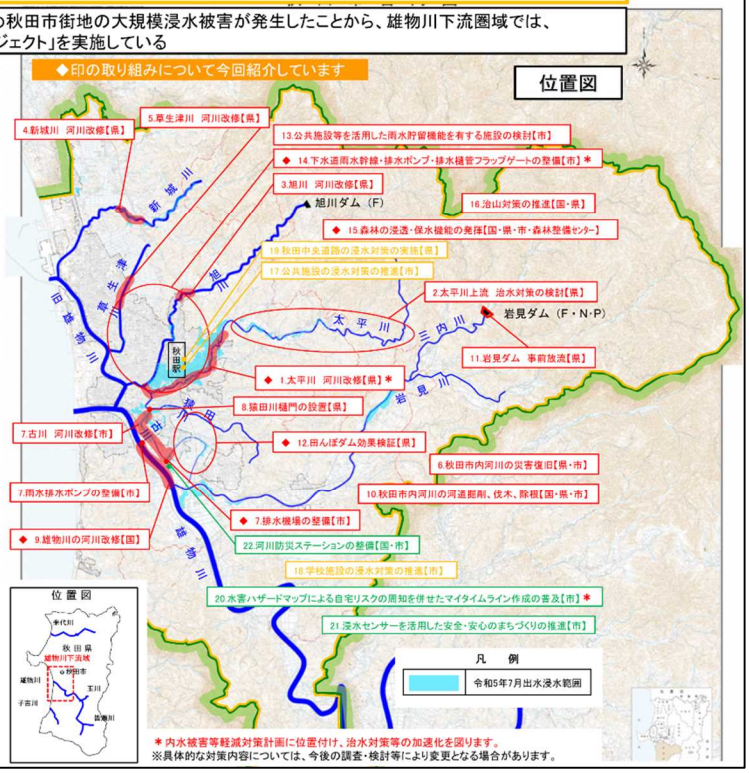
古川沿川の住宅地（大住地区）



太平川沿川の県道秋田昭和線（城東十字路付近）

◆印の取り組みについて今回紹介しています

位置図



＊内水被害等軽減対策計画に位置付け、治水対策等の加速化を図ります。
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雄物川下流圏域
水災害対策プロジェクト

1. 太平川の河川改修①　【秋田県】

・延長4.6km（旭川合流点～桜大橋付近）において、川の中の土砂を除去して洪水時の水位を低下させます。また、掘削後の法面保護のため、護岸を設置します。
［治水安全度］現況：1/10　⇒　整備後：1/20

※内水被害等軽減対策計画に位置付け、治水対策の加速化を図ります。

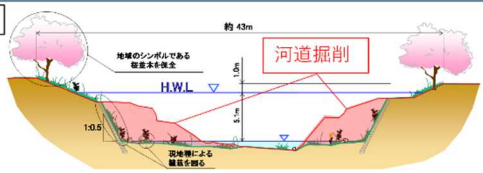


■事業内容：河道掘削、護岸等
■事業期間：令和５年度～令和１０年度
■施行地　：秋田市楢山ほか



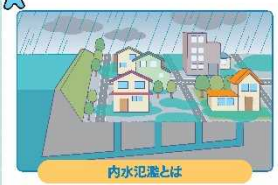


太平川整備計画断面図



具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

水害発生のメカニズム



内水氾濫とは、雨の量が排水路や下水道などの排水施設の能力を超えるときや、河川の水位が高くなったときに雨水が排水されにくくなり、堤防を越えなくても浸水することです。近年、都市化の進展により内水による浸水の危険性が高まっています。

（内水浸水想定区域図）



外水氾濫とは、大雨によって河川の水位が高くなることで堤防を越えて水があふれたり、堤防の土砂が流出して決壊することです。外水氾濫は、家屋の倒壊や流出など、大規模な災害を発生させることがあります。

（水害ハザードマップ）

大雨時の地下施設は危険です

◉地下室にご注意を

大雨時の地下室の利用は危険です。浸水の危険があるときは、早めに避難しましょう。


地上が浸水すると水が一気に流れ込む


停電して、エレベーターなどが使えなくなる


野外の様子が分かりにくい


水圧でドアが開かなくなる

◉地下道にご注意を

市内には道路などの立体交差部や地下道が数多くあります。浸水時には水深が深くなり危険ですので、注意しましょう。





浸水への備え

◉日ごろから、浸水を防ぐ用具を準備しておきましょう。

浸水が浅い場合には、浸水を防ぐため図のような対策が有効です。

自助・共助の取り組みを

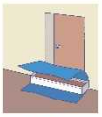
・浸水が予想される場合には、自家用車の移動などを心がけてください。
・小学校の通学路や老人福祉施設などの周辺で浸水が予想される場合には、地域ぐるみでの対応を心がけてください。





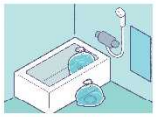
浸水を防ぐ用具例

◉身近にあるもので被害を軽減できます。


プランターと
レジャーシートの組合せ


水を入れたビニール袋と
ダンボール箱の組合せ


ポリタンクと
レジャーシートの組合せ


水のうで排水口をふさぐ
ビニール袋を水で満たした「水のう」でトイレや浴室の排水口を一時的にふさぐことで、下水の逆流を防ぐ。

◉側溝や雨水ます等の点検・清掃にご協力をお願いします。

雨水ます等に泥や落ち葉、ゴミが溜まると、浸水の原因になります。みなさんのご協力をお願いします。

道路の側溝や雨水ますの確認を



側溝や雨水ますの集水口に落ち葉などが溜まっていないか確認しましょう。詰まっていたら取り除きましょう。

◉浸水時にはご注意ください。

マンホールにご注意を

大雨により、マンホールのふたが外れることがあります。転落する危険があるので、近寄らないでください。



秋田市上下水道局 下水道整備課　TEL：018-864-1455　FAX：018-864-1456
https://www.city.akita.lg.jp/suido/1011432/1034477.html